



Chartered April 11.1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Seiji Igarashi 〒659-0014 6-16-402 Midorigaoka Ashiya .JAPAN
 Mail : PX100151@nifty.com Tel 0797-22-7852
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 ウィチャン・ブーンマパジョン(タイ)
 「信念あるミッション(使命・目標)」 "Mission with Faith"
 アジア地域会長 エドワード K.W. オング(シンガポール)
 「愛をもって奉仕しよう」 "Through Love, Serve"
 西日本区理事 遠藤通寛(大阪泉北)
 「あなたならできる！きっとできる」
 "You can do it ! Yes, you can"
 六甲部部长 進藤啓介(神戸クラブ)
 「-YMCAと共に- 次世代を育み、地域に仕える」
 芦屋クラブ会長 五十嵐政二
 「絆を太く、強く」

会 長 五十嵐政二
 直前会長 福原吉孝
 副 会 長 上野恭男・堤 清
 書 記 柏原佳子・上野恭男
 会 計 羽太英樹
 監 事 田舎庸男
 連絡主事 藤田良祐
 六甲部交流担当主査 福原吉孝

11

Nov. 2015
222号

「広報・情報」

羽太英樹

ワイズメンズクラブの暦では11月は「広報・情報」の強調月間となっています。手元のワイズハンドブックによると、広報・情報とは「ワイズ各クラブの優れた活動などを広く内外に広報することに努め、社会におけるワイズメンズクラブに対する理解と共感を得ながら認知度、好感度を高めること」とあります。はっきり言って、世間では「ワイズメンズクラブ」って、何？ というのが正直な感じです。情報手段の多様化で情報が入り乱れる世ですが、まずは「口コミ」で「楽しいですよ！竹園での例会へどうぞ！」と誘いませんか？ 手始めに今年も楽しいカントリーミュージックとダンスのクリスマス祝会をEMCへの一助となるようにがんばりましょう。話は変わりますが、明治維新の私学教育のパイオニア・福沢諭吉にはキリスト教排撃論者とのイメージがある反面、福沢の情報発信誌「時事新報」の社説に、「日本も独立の地位を保つためにはキリスト教という欧米文明国と同じ宗教を盛んにする必要がある」という大胆な提言をしています。福沢諭吉は30年近くも宣教師との交友を続け、子どもたちへの影響も大きく、長男、三女、四女は洗礼を受けてキリスト者となり四女の滝は東京YWCAの会長を20年も務めています。

今月の聖句

宣べ伝える人がいなければ、どうして聞くことができよう。遣わされないで、どうして宣べ伝えることができよう。「良い知らせを伝える者の足は、なんと美しい事か」と書いてあるとおりです。
 <ローマの信徒への手紙 10:14b-15>

11月第1例会プログラム

と き： 2015年11月19日(水) 19:00~21:00
 と ころ： ホテル竹園芦屋 (敬称略)
 司 会： 篠坂幸彦

1. 開会点鐘 五十嵐政二会長
2. クラブソング斉唱 一同
3. 聖書朗読 羽太英樹ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 篠坂幸彦ワイズ
5. 食前感謝 上野恭男ワイズ
6. 会食・懇談
7. 「全国YMCAリーダー研修会」報告
8. メンバー's スピーチ 権 甲植ワイズ
 「韓国に親しむ」
9. 1) 第2例会議事録の承認 五十嵐政二会長
 2) 各事業委員の報告 各委員
10. YMCA報告 藤田良祐連絡主事
11. ニコニコ献金報告 島田 恒ワイズ
12. 誕生日祝い 五十嵐政二会長
 堤 清ワイズ、五十嵐かほる、畠中由圭、福原美鈴(各メネット)
13. 閉会点鐘 五十嵐政二会長

10月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 累計 gm
メンバー	15名	出席者	15名	
ビジター	1名	メイクアップ	名	
ゲスト	1名	合計	15名	
メネット	1名	在籍者	17名	
コメント	名	(内広義会員1名)		
合計	18名	出席率	93.75%	
				ニコニコ 10月 19,000円 累計 61,235円

10月第1例会報告

日時：2015年10月21日(水)19:00～21:00

場所：ホテル竹園 (敬称略)

出席者：五十嵐会長、田舎庸男、上野恭男、柏原佳子
桑野友子、権 甲植、篠坂幸彦、島田 恒、堤 清、
都筑省三、羽太英樹 坂東幸子、福原吉孝、渡辺
倫子(各メン)、五十嵐かほるメネット、藤田良祐連絡
主事

ゲストスピーカー：李 重載(イチュンジェ)牧師

ビジター：大野勉(神戸ポート)

天高く、馬もいよいよ人も肥える秋のさわやかな夕暮れに、10月の第1例会が行われた。簡単な司会者の挨拶の後、そのたどたどしさを打ち破るような五十嵐政二会長の力強い開会点鐘をもって例会開始。まず全員でクラブソングの斉唱が行われ、続いていつも私たちを和ませ、一つに導いてくれる聖書朗読が羽太英樹ワイズによってなされた。



順序に従い今日のゲストスピーカーとビジターの紹介がされた後、食戦感謝の祈りを都筑省三ワイズが行い、全員(?)が待っていた会食・懇談に突入、安い(?)酒類の価格の告知と共に楽しいひと時がもたれた。元来聖書の世界では、共に食事をとることは大変重要な行事とされていた。互いの命を育むことのできる食べ物を共にとることによって、互いを確認しあい、隣人との絆を強める場でもあった。



意味ある 식사가和やかに終わった後、順序に従いゲストスピーカーの李重載牧師より「韓国の教会」と題してその成り立ちから現在の韓国の教会状況についてスピーチが約40分行われた。不得手な日本語を見事に駆使されてのお話、有意義なひと時を持てた事に対して、李重載牧師に感謝の意を表したい。暫くの質疑応答の後、感謝の拍手でスピーチを終了。

続いて第2例会議事録の承認が五十嵐会長より行われ、全員一致で承認、併せてジャガイモファンドなどの各事業委員の報告、また藤田良祐連絡主事よりYMCA報告がなされ、当ワイズとの連帯が再確認された。こののちゲストスピーカーの李牧師に会長より感謝のしるしが手渡された後、ニコニコ(!)献金とその集計が島田恒ワイズよりなされた。

最後に今月の誕生日祝いに入り、五十嵐政二会長・田舎庸男ワイズ、奇しくも10月生まれであった



李牧師にも直前会長の福原吉孝ワイズより記念の品が手渡され、全員共に祝いの歌を歌い五十嵐会長の安堵(?)の開会点鐘をもって、10月第1例会を終了、見事9時ちょうどであった。ご苦労様、そしてヨカッタ。 権 甲植

「第20回日本障害者オープンゴルフ選手権」観戦記

去る10月26・27日、学校法人関西学院が母体であり三田市にある千刈CCがNPO法人日本障害者ゴルフ協会主催の表記大会の開催を関西で初めて引き受けられ「Mastery for service」の精神にふさわしく関西学院・千刈CCの各OB・メンバー等その他多くのボランティアの協力で以て盛大に行われた。私もOBの一員として、ささやかながら9番ホール中間地点担当のボランティアをさせて頂き、多くの感動を戴いた。日本全国から61名海外から2名(デンマーク、グアム)計63名の障害者選手と各組1名のボランティア同伴プレイヤーを含め約84名がプレイ参加となる。(障害を分類)すると：上肢障害(右上腕切断ほか)：下肢障害(左下腿切断ほか)：片マヒ障害(脳出血による右片マヒほか)：重複障害(先天性下腿欠除ほか)：車イス(脊椎損傷)：知的障害(ダウン症ほか)の方々の参加で行われた。 天気にも恵まれ、選手の皆さんは明るく元気に堂々と(二日間36Hスクラッチ競技)に挑戦されていた。そしてゴルフの基本であるマナーも立派で実にスマート。9番ホール中間地点を通過される際には遠くからでも私たちボランティアに会釈され、こちらにもそれに応え、。実に爽やかな一瞬が何度も繰り返された。皆さんのショットは、いづれの方々も大振りではなく(無駄な力が入っていない)、ボールをクラブフェースの芯でとらえ、その初速も鋭い。また飛距離よりも方向性に重点を置かれているようにも見受けられた。私たちグランドシニア、レディースにとっては大いに参考に、。そしてスコアについては危険を考慮し、僅かの特別ルール(障害部門別)が設定されてはいるが身体的ハンディを背負いながら(2日間トータル160ストローク(81・79))と言う驚異的なスコアが、。また最年少(小6)選手のスコアがこれまた驚きの(193(97・96))だった。他の選手の方々のスコアを見ても障害の違いこそあれ見事なもので皆さんのゴルフに対する努力と熱意と挑戦に大いなる感銘を受けた。そして今回の選手権運営に尽力された各関係者の素晴らしい心打たれ、この機会を得た事に感謝したい。

終わりに(NPO法人日本障害者ゴルフ協会)としては世界の同協会と共に(パラリンピックの正式競技に認定)される事を願い、日々活動されている事をお伝えしておく。

篠坂 幸彦

チャリティーラン、本当に愉しかったですね・・・

今年は、特別に愉しかったチャリティーランであった。例年通り、みどり作業所の大澤昌子さん以下、数名の方々としあわせ村に向かった。当日は、素晴らしい秋晴れで、すがすがしい空気で、いい汗をかきながら過ごせた。例年の通り、チヂミ焼きの「ごま油」と「チヂミのたれ」の美味しそうな匂いをまき散らしお客さまのすきっ腹を刺激するのが、大勢押し寄せ行列が出来るほどで、売上もぐんぐんと上がる嬉しい状況であった。チヂミ粉、人参、ニラの準備は万全で美味しいチヂミになった。桑野さんご苦労様でした。さて、チヂミ焼きは、ユースプラザから来てくれた中高生が大活躍で、芦屋クラブ参加者は、殆ど手持無沙汰の状況であった。

みどり作業所の参加者は毎年大変楽しみにされている。今回も1チーム5名で、3組のグループランに参加した。西宮クラブの山本メンに



助っ人を頼み篠坂メンと小生の3名が伴走した。男性5名チームのなんと早いこと、小生が伴走した2組目の2名も脱兎の如くスタートし見る間に姿が見えなくなった。小生は後ろの方の参加者の伴走となってしまった。日頃の運動不足から「ふうふうと息切れ」し「大汗をかきかき」やっとの思いで2キロを完走した。みどり作業所の参加者はチャリティーランに備えてみっちり練習され、ランナーとして中々の強者である。今回の参加者も大変愉しかったとの感想である。なにより嬉しいと思う。また、来年も頑張るって参加すると帰りの車の中で会話していた。

芦屋クラブから参加した羽太メン、篠坂メン、桑野ウイメン、藤田連絡主事、ユースプラザの若者たち大変愉しくチャリティーランに参加出来ました。本当に有難うございました。

芦屋クラブ 福原 吉孝

チャリティーラン参加記

毎年9月になると参加者を募集し、週に1度、2キロを走れるように練習しています。11月3日が近づくくとだんだん盛り上がり、心はチャリティーラン！みんなとても楽しみにしています。今年も3チーム14人(3名Y'Sの伴奏者)がグループランに参加しました。秋晴れの気持ちいい青空の下、いい汗



の感想をご紹介します。

を流すことができました。ウイズメンズの皆様には今年も送迎や伴走、美味しいチヂミをいただくなど大変お世話になりました。ありがとうございました。みんな

- * 仮装している人を見ながら走らせて楽しかったです。毎年、出店で何食べようかと楽しみにしています。チヂミ美味しかったです。Kさん
- * Sさんが頑張っていたから私も頑張るって走りました。Tさん
- * 今年は一番速いグループで参加。疲れたけど頑張りました。Fさん
- * 一回も歩かないで走ったよ。頑張った。応援ありがとうございました。Yさん
- * お父さんと参加しました。楽しかったです。Fさん
- * いい汗流して気持ちよかったです。来年も参加します。Kさん
芦屋みどり福祉会 大澤 昌子

チャリティーラン感想

晴天の中、中高生7名・リーダー2名で活動しました。毎年、中高生わくわくクラブはチャリティーランに参加し、芦屋ウイズメンズクラブの方々と一緒に、チヂミの出店をさせていただいています。中高生が自分たちで役割分担を考え、一生懸命焼いている姿を見て、頼もしさを感じました。毎年参加している中高生から、初めて参加する中高生まで、皆が販売の大変さ・売れたときの喜びを感じることができたのではないかと思います。また、お昼からはグループランにも参加しました。お揃いのTシャツとフェイスペインティングを施し、楽しく走り、皆と一緒にゴールをすることが出来ました。チャリティーランの収益が「心身に障害のある子どもたちのプログラムに役立っている」ということを中高生が意識しながら、楽しめた一日になったのではないかと思います。芦屋ウイズメンズクラブの皆様には、本当にお世話になりました。ありがとうございました。
中高わくわくクラブリーダー 荒木 浩平

チャリティーラン感想

主にチヂミの販売のお手伝いとグループランへの出場をしました。絶え間なく来てくださるお客さんに、美味しいチヂミを提供できるように、中高生たちは鉄板に生地を乗せる役、それを裏返す役、会計の役など自分たちで役目を割り振り、互いに交代しながら

たくさんチヂミを焼くことができました。初めは大きさをそろえたり、裏返すタイミングを計ったりすることが難しかったようですが、経験のある上



級生や、芦屋ウイズメンズクラブのチヂミ名人の方々からのアドバイスもあり、徐々に上達し、最後には無事完売することが出来ました。午後はグループランに出場しました。顔に絵の具を塗ったり、Tシャツを揃えたりと自分たちで考えた、中高生ならではの仮装をして走りました。

参加した中高生は、芦屋ウイズメンズクラブの方々と一緒にチヂミ販売をしたことが、他の人のためになることを理解し、充足感を覚えているようでした。中高生を温かく迎えてくださり、ありがとうございました。

中高わくわくクラブリーダー 飯田 亮

第2例会議事録(抄)

YMCAニュース

と き: 2015年10月28日(水)

と ころ: ホテル竹園芦屋ラ・ルー 10:30分~20時

出席者: 五十嵐政二会長、福原吉孝、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、篠坂幸彦、羽太英樹、藤田良祐(8名)

議 題

1) 例会の検討

- ・12月23日(祭・水)クリスマス例会
カントリーバンド「ヒルビリー・オーサムズ」・シンベエ&スパイシーエンジェル
- ・1月20日(水)第1例会 インド舞踊
- ・2月17日(水)第1例会 次期クラブ役員選考の事務例会、羽太メネット腹話術
- ・3月16日(水)第1例会 カントリーの歴史 中 進一郎氏
- ・4月5月6月第1例会 未定 五十嵐会長が交渉

2) 11月、12月第2例会を竹園ラ・ルーとすることを決定

3) 11月例会のドライバーと受付の決定

4) チャリティ・ランの役割分担を決定

5) 9月度の会計報告が羽太会計よりあり、了承される

6) 桑野ファンド委員よりジャガイモファンドの報告があり、収益金7万余円がファンド収入として、会計に入金

7) 今後の予定

- ・クリスマス実行委員は五十嵐会長、上野、柏原、桑野、篠坂、羽太、福原(各ワイス)及び藤田連絡主事の8名とし、今後の歩みは藤田連絡主事の昨年度式次第をたたき台としてメールでのやり取りとする
- ・クリスマス会アピールは11月第2例会で柏原書記の情報のもと、各クラブクリスマス会への参加者を決める
- ・2016年留学生交流会は2月3日(水)ブルーミンメードで開催する

8) 行事報告

YYフォーラムは来春2月開催を確認。

9) 韓国インチョン市に来春観光・親睦を目的に訪問、その後IBC検討の方針を確認、権ワイスより具体案提出をお願いする

10) その他

各種ファンド献金(西日本区大会での表彰対象に関連する)については自由献金とすることの再確認をした。尚、種々あるファンドのどれかに絞り込んで会員に献金をお願いするかについては2月第2例会で討議する 以上

* ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ *

ジャガイモファンド報告

今年も皆様のご協力のもとに下記の通りジャガイモファンドを行いました。

「十勝のじゃがいも」	クラブ配達	41箱
	佐川便	52箱
「インカのめざめ」	クラブ配達	10箱
	直送分	11箱

合計金額 303,700円

ファンド金額 70,400円 (クラブ会計に入金済み)

有難うございました。(ファンド委員)

保育園運動会

10月3日(土)素晴らしい秋晴れのもと、YMCA保育園・西神戸YMCA保育園・神戸学園都市YMCAこども園のふれあい運動会が行われました。子どもたちは元気いっぱい身体と心を躍動させ、全身が喜びに満ちていました。これからも神様から与えられたからだを動かし、楽しみながら心身ともに成長できるよう願っています。

留学生・高校生 秋の入学式

10月8日に専門学校日本語学科の秋期入学式、高等学院の後期入学式が行なわれました。日本語学科では、12ヶ国67名の留学生を迎えました。言葉も文化も習慣も違う国で、新しい生活が始まります。また、高等学院では4名の新入生を迎え、それぞれの目標に向けて歩みを始めました。期待と不安の入り混じった気持ちで入学式に出席した留学生・生徒ですが、一人ひとりにとってYMCAが大切な場となり、充実した学校生活を送られるよう応援していきます。

第33回チャリティーゴルフ大会

10月21日、爽やかな天気のもと、花屋敷ゴルフ倶楽部よかわコースで52名の方々にご参加いただき、チャリティーゴルフ大会が開催されました。大会での募金とは別に「神戸YMCA子ども奨学金」への募金をお願いしましたところ、26,587円のご寄付をいただきました。また、収益金から諸経費を除いた約278,000円を、神戸YMCA青少年指導者養成支援金として、また一部を東日本大震災の復興支援として捧げさせていただきました。お支えいただいた皆様に感謝いたします。

秋のバザー開催

10月24日(土)学園都市会館、25日(日)西宮ランチで秋のバザーが開催されました。両日ともに、秋晴れの中で大勢の来場者を向かえ、笑顔溢れる楽しい1日となりました。多くのボランティアにお支えいただいたことを感謝いたします。バザーの収益は子育て支援、国際協力、地域活動等に捧げさせていただきます。

* ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ *

今後の予定

- ・11月21日(土) 西神戸YMCA幼稚園バザー
- ・12月10日(木) 宝塚市民クリスマス
- ・12月11日(金) 神戸市民クリスマス
- ・12月16日(水) 第2例会 ラ・ルー特別室
- ・12月23日(水祭) 芦屋クラブクリスマス会

編集後記: 天高く馬肥ゆる秋、今年は夏の猛暑の償いか?ここ何日間は素晴らしい晴天の日が続きます。スポーツの秋、ゴルフ場はどこも満杯のようです。チャリティーランでは良い汗を流しました。皆様の原稿は殆どが「有難うございました」「お世話様でした」で締めくくられています。「感謝」と「思いやり」があふれる文章です。

桑野友子